

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	インターンシップ		
英文授業科目名	Internship		
開講年度	2004年度	開講年次	3, 4年次
開講学期	5, 7学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-自由科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名			
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>現場における実習・研修によって、生産と技術の現場の状況、および生産の実際、経済性、作業と安全の一体不可分性などに関心と興味を深め、自主性を備えた人材の育成を図る。また、実際の問題に当面することによって、それに対処できる能力を養う。また、人との協力の重要性、知識人としてのあり方、勤労の尊さを身をもって体験させる。このような学生の将来のキャリアに関連した就業体験を通して、具体的な仕事に対するイメージを確立し、自己の職業適性や将来設計について深く考える契機を与える。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
なし

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

原則として、夏期休業中に行うが、その前に説明会等のガイダンスが行われる。掲示によって案内や募集をするので、各自掲示に注意すること。実習・研修内容は、就業体験先の企業によって異なるので、事前によく調べておくこと。詳細や疑問点等は共同研究センターのインターンシップ担当者に相談するとよい。親身に相談に乗ってもらえる。

実習・研修期間中は、企業人として現場に勤務することになるので、社会人としての自覚を明確にもって臨むことが肝要である。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

実習・研修状況に関する本人のレポートおよび受け入れ企業の担当者の本人の仕事ぶり等に関するレポートによって、優良可・不可の判定を行う。本人のレポートには、実習・研修によってなにを得たかをしっかり書くとよい。

### 【オフィスアワー：授業相談】

### 【学生へのメッセージ】

### 【その他】